

長 崎 県 観 光 統 計

平成 29 年（1 月～12 月）



長崎県 観光振興課

この統計表の見方

○用語の解説とそれらの相関関係

(A) 観光客延べ数・・・観光の活動量を日単位で表すもので、当該地を訪れた観光客の滞在日数の合計としての入込者数で表される。

<算式で表すと>

$$\text{観光客延べ数} = \text{宿泊客延べ滞在数} + \text{日帰り客数}$$

(B) 宿泊客延べ滞在数・・・次の2つの要素を合計したもので、当該地に来訪した宿泊をとまなう観光客の滞在日数の合計としての入込者数で表される。

<要素>

(1) 宿泊客実数・・・何泊したかを問わず当該地に宿泊した観光客の合計

(2) 延べ宿泊者数・・・当該地の宿泊観光客の延べ宿泊数の合計

<算式で表すと>

$$(3) \text{ 宿泊客延べ滞在数} = \text{宿泊客実数} + \text{延べ宿泊者数}$$

平均宿泊数・・・当該地の宿泊観光客が平均何泊するかを表すもので、必ず1(泊)以上として表される。

<算式で表すと>

$$\text{平均宿泊数} = \text{延べ宿泊数} \div \text{宿泊客実数}$$

(C) 観光客実数 = 日帰り客数 + 宿泊客実数
= 地元客 + 県内客 + 県外客

【具体例】

☆1人が2泊3日した場合

(1) 宿泊客実数・・・1人

(2) 延べ宿泊数・・・2泊

(3) 宿泊客延べ滞在数・・・3人

○調査概要

作成にあたっては、宿泊施設における聞き取りや県内各ブロックの主要観光施設の入込状況、航路・空路の乗降客数等を考慮し、平成 29 年 12 月 31 日現在の観光客数について、各市町が推計したものを県において集計したものである。

※なお、端数処理の関係上、合計と一致しないものがある。

○地域ブロック区分

この統計表における地域ブロック区分は以下のとおりである。

- ① 長崎・西彼：長崎市、長与町、時津町
- ② 佐世保・西海・東彼・北松
：佐世保市、西海市、東彼杵町、川棚町、波佐見町、佐々町
- ③ 平戸・松浦：平戸市、松浦市
- ④ 諫早・大村：諫早市、大村市
- ⑤ 島原半島：島原市、雲仙市、南島原市
- ⑥ 五島：五島市、新上五島町、小値賀町
- ⑦ 壱岐：壱岐市
- ⑧ 対馬：対馬市

○再算定について

本年は、一部の市町において昨年公表数値の訂正や精査、見直しが生じたため、平成 28 年の公表数値について再算定を行っている。

平成29年長崎県観光統計

長崎県の観光客延べ数（平成29年1～12月）

33,568,114人（対前年比+4.2%）

平成28年の32,226,796人^{（注）}と比べ、1,341,318人の増加

- ・観光客延べ数は、統計をとりはじめた昭和47年以降最多であった平成27年を上回り、過去最高となった。
- ・日帰り客は、6年連続で過去最高を更新した。
- ・宿泊客は、平成28年（2016年）熊本地震（以下、「熊本地震」という。）の影響から回復傾向にある。

●概況

昨年（平成28年。以下同じ）4月に発生した熊本地震の影響から持ち直したこと、クルーズ客船の入港隻数が過去最高を4年連続で更新し、また、外国人宿泊客数も過去最高となったことなどから、観光客延べ数は134万人増加し、過去最高であった平成27年を更に上回る3,357万人（対前年比+4.2%）となった。

特に日帰り客は、101万人と大幅に増加し、2,186万人（対前年比+4.8%）となって、6年連続で過去最高を更新した。

一方、宿泊客は、昨年の「九州ふっこう割」、「ねんりんピック長崎2016（以下、「ねんりんピック」という。）」及び「長崎デスティネーションキャンペーン（以下、「長崎DC」という。）」の反動減や天候不順などの影響が見受けられたものの、熊本地震の影響から回復傾向にあり、宿泊客延べ滞在数は、昨年から33万人増の1,170万人（対前年比+2.9%）となった。

観光客数比較

（単位：人）

	H28	H29	対前年増減	対前年比
観光客延べ数	32,226,796	33,568,114	1,341,318	4.2%
日帰り客数	20,854,058	21,863,208	1,009,150	4.8%
宿泊客延べ滞在数	11,372,738	11,704,906	332,168	2.9%

（注）一部の市町において昨年公表数値の訂正や精査、見直しがあったことから、平成28年の数値は再算定数値を用いている。以下の表においても同じ。

1. 長崎県の観光動向

(1) 四半期毎の観光動向（※長崎県観光動向調査：宿泊客数の前年比）

【1～3月】（▲9.5%）

熊本地震からの回復を後押ししてきた「九州ふっこう割」が前期で終了し、また、昨年2月末まで実施した「ふるさと割」の反動減や、複数の大型宿泊施設のリニューアル工事等に伴う休館などにより、1～3月期全体では対前年同期比▲9.5%と4期連続の減となった。特に2月は、昨年の閏日の影響や大型イベントの日程の関係もあって対前年比▲17.3%と大幅な減少であった。一方、客室稼働率については、3月には対前年増となっていることから、全体的には持ち直しつつあるといえる。

【4～6月】（+23.6%）

昨年が熊本地震の影響により宿泊客数が大幅減だったこと、また、前期は工事等により休館していた複数の大型施設が、リニューアルオープンしたことなどにより、4～6月期全体では対前年比+23.6%と持ち直し、四半期としては平成28年1～3月期以来1年ぶりの対前年増となった。特に昨年地震の影響を最も受けた5月は、ゴールデンウィーク後半が5連休と日並びがよかったこともあり、客室稼働率も対前年比+14.3ポイントと大きく持ち直した。

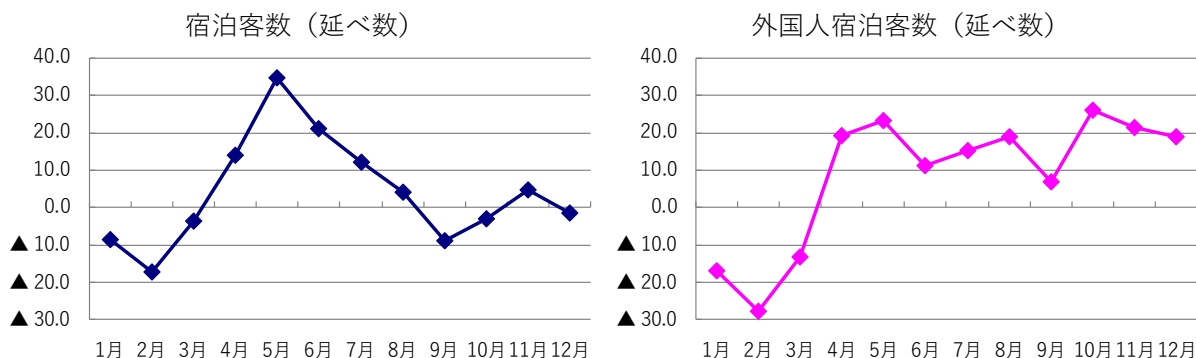
【7～9月】（+2.4%）

昨年の「九州ふっこう割」の反動減や天候不順などの影響を受けたものの、基調としては熊本地震の影響から国内外観光客ともに回復傾向にあり、7～9月期全体では対前年比+2.4%と2期連続で対前年増となった。月別に見ると、7、8月は対前年増であったが、3連休の中日に列島を縦断した台風第18号の影響が大きかった9月は対前年減となり、客室稼働率も対前年比▲3.1ポイントとなった。

【10～12月】（+0.1%）

昨年の「九州ふっこう割」などの反動減などの影響を受けたものの、基調としては熊本地震の影響から国内外観光客ともに回復傾向にあり、10～12月期全体では対前年比+0.1%と3期連続で対前年増となった。月別に見ると、「ねんりんピック」の反動減や台風第21号及び第22号の影響を受けた10月と、昨年に比べ日並びが悪かった12月が、宿泊客数、客室稼働率とも対前年減となった。

長崎県観光動向調査における月別対前年増減率の推移（％）



（2）日帰り、宿泊別観光客の動向

日帰り客は、熊本地震の影響からも持ち直しに加え、クルーズ客船の入港数の大幅増などにより、対前年比+4.8%（+100.9万人）と6年連続で過去最高を更新した。

宿泊客は、昨年の「九州ふっこう割」や「ねんりんピック」、「長崎 DC」の反動減や年後半の天候不順などの影響が見受けられたものの、熊本地震の影響から回復傾向にあり、また、外国人宿泊客が過去最高となったことから、宿泊客延べ滞在数が対前年比+2.9%（+33.2万人）、延べ宿泊者数が対前年比+2.7%（+17.6万人）となった。

日帰り・宿泊別観光客数

（単位：人）

	H28	H29	対前年増減	対前年比
日 帰 り 客 数	20,854,058	21,863,208	1,009,150	4.8%
宿泊客延べ滞在数	11,372,738	11,704,906	332,168	2.9%
延べ宿泊者数	6,424,635	6,600,627	175,992	2.7%

(3) 観光客数の推移

平成 25 年は、ハウステンボス入場者数の大幅増加や、世界新三大夜景認定以降、夜型観光が好調であったこと、長崎しおかぜ総文祭や国体のリハーサル大会が開催されたこと、更に外国人観光客が大幅に増加したことなどから、県内全てのブロックで増加が見られた。

平成 26 年は、長崎がんばらんば国体・長崎がんばらんば大会の競技が県内各地で開催されたことや、世界文化遺産候補となった観光施設への誘客が堅調であったことから観光客の増加が見られた。

平成 27 年は、「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」が世界文化遺産に登録されるなど、世界遺産候補も含めた注目度の高まりをはじめ、長崎市、ハウステンボスが引き続き好調を維持するとともに、ふるさと割の効果などで宿泊客が大幅に増加し、観光客延べ数は 4 年連続の増となった。

平成 28 年は、クルーズ客船の入港が順調に拡大したものの、熊本地震の影響が大きく、九州ふっこう割やねんりんピック、長崎 DC などがあったものの、平成 23 年以来 5 年ぶりに観光客延べ数は減少に転じた。

平成 29 年は、熊本地震の影響から持ち直しに加え、クルーズ客船の入港が昨年に引き続き大幅に伸び、訪日観光需要の高まりにより外国人宿泊客数も過去最高となったことなどから、観光客延べ数も過去最高となった。

観光客延べ数の伸び率推移

(単位：%)

	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
対前年比	▲ 1.4	0.9	2.7	▲ 3.7	4.3	5.5	4.8	2.7	▲ 2.7	4.2

(4) 地域ブロック別の動向

①長崎・西彼ブロック 731.0 万人、対前年比+5.2% (+36.4 万人)

長崎市：主要観光施設において熊本地震による減少分の回復に加え、出島表門橋の開通効果などがあり、更に、長崎港へのクルーズ客船の入港が前年比 35.5% 増の 267 隻、乗客乗員数が前年比 46.7% 増の 105.2 万人と、どちらも 4 年連続で過去最高を更新したことから、日帰り客が過去最高となり、対前年比+7.4% (+31.3 万人) となった。

また、宿泊客については、昨年の「九州ふっこう割」や「ねんりんピック」の反動減、造船関連ビジネス需要による外国人宿泊客の反動減があったものの、韓国、台湾など東アジアからの宿泊客が増加し、また、昨年減少した修学旅行も回復するなど、基調としては熊本地震の影響から回復傾向にあり、宿泊客延べ滞在数は対前年比+1.6% (+4.1 万人) となった。

これらのことから、観光客延べ数は対前年比+5.3% (+35.4 万人) となり過去最高を更新した。

②佐世保・西海・東彼・北松ブロック 1,050.9 万人、対前年比+3.6% (+36.6 万人)

佐世保市：台風の影響や、他県観光施設との競合などにより、ハウステンボス及び九十九島パールシーリゾートの入場者数は伸び悩んだものの、クルーズ客船の入港が 84 隻と順調に伸び、させぼっくす 99 や展海峰などへの入込が堅調であったため、日帰り客数は+3.6% (+14.5 万人) となった。

また、宿泊客数については、昨年の「九州ふっこう割」や「ねんりんピック」などの反動減が見受けられたものの、台湾や韓国などからの宿泊客数が持ち直すなど、熊本地震の影響から回復傾向にあり、宿泊客延べ滞在数は対前年比+2.3% (+7.8 万人) となった。

これらのことから、観光客延べ数は対前年比+3.0% (+22.3 万人) となった。

西海市：昨年の「九州ふっこう割」や「ねんりんピック」の反動減に加え、宿泊施設の休業などにより、観光客延べ数は対前年比▲1.3% (▲1.5 万人) となった。

波佐見町：これまでの情報発信などが功を奏し、陶器まつりへの参加者が過去最高となるなど、観光施設等への客足も伸びたことなどから、日帰り客数、宿泊客数とも過去最高を更新し、観光客延べ数は対前年比+14.3% (+13.9 万人) と大きく増加した。

③平戸・松浦ブロック 268.8万人、対前年比+2.4% (+6.3万人)

平戸市：昨年の「九州ふっこう割」や「ねんりんピック」の反動減や、台湾などからの団体ツアーの減少があったものの、大型宿泊施設のリニューアルや、二次交通アクセス対策などの奏功により熊本地震の影響から回復し、観光客延べ数は対前年比+3.5% (+6.7万人) となった。

松浦市：熊本地震の影響を受けた修学旅行の受入が持ち直し、また、ビジネス需要により宿泊客が増加したものの、昨年の鷹島モンゴル村の休村の影響などにより、日帰り客が減少したため、観光客延べ数は対前年比▲0.6% (▲0.4万人) となった。

④諫早・大村ブロック 408.8万人、対前年比+6.7% (+25.7万人)

諫早市：昨年の「九州ふっこう割」や「ねんりんピック」の反動減や、外国人宿泊客の減少はあったものの、宿泊客数全体としては回復傾向にあり、また、昨年比イベント時の天候に恵まれたため、観光客延べ数は対前年比+3.9% (+9.9万人) となった。

大村市：昨年の「九州ふっこう割」や「ねんりんピック」の反動減や、外国人宿泊客の減少はあったものの、観光施設の利用者が堅調に推移し日帰り客が過去最高を更新したため、観光客延べ数も過去最高を更新し対前年比+12.0% (+15.8万人) となった。

⑤島原半島ブロック 640.8万人、対前年比+2.1% (+13.4万人)

島原市：昨年の「九州ふっこう割」や「ねんりんピック」の反動減が見受けられたものの、市内への観光客の入込数がほぼ回復し、また、宿泊客が堅調に推移したことから、観光客延べ数は対前年比+14.9% (+20.6万人) と大きく増加した。

雲仙市：4月から6月までは昨年熊本地震による減少の反動で日帰り客、宿泊客とも対前年増となったものの、7月以降は主要観光施設利用者数が伸び悩み、また、大型宿泊施設の休館などの影響や、昨年の「九州ふっこう割」及び「ねんりんピック」の反動減により宿泊客数も減少したため、観光客延べ数は対前年比▲2.6% (▲8.7万人) となった。

南島原市：昨年の「九州ふっこう割」の反動減が見受けられたものの、農林漁業体験民泊の利用者が増加するなど、熊本地震の影響から回復傾向にあり、観光客延べ数は対前年比+1.0% (+1.5万人) となった。

⑥五島ブロック 72.1 万人、対前年比+2.7% (+1.9 万人)

五 島 市：昨年の「九州ふっこう割」や「ねんりんピック」の反動減などが見受けられたものの、熊本地震の影響から回復し、有人国境離島法を契機とした宿泊客の増加や、修学旅行客の増加などにより、観光客延べ数は対前年比+3.9% (+1.5 万人) となった。

新上五島町：昨年の「九州ふっこう割」の反動減は見受けられたものの、頭ヶ島天主堂などの来訪者が増加したことなどから、観光客延べ数は対前年比+1.9% (+0.5 万人) となった。

⑦壱岐ブロック 56.9 万人、対前年比+4.6% (+2.5 万人)

壱 岐 市：昨年の「九州ふっこう割」の反動減は見受けられたものの、有人国境離島法を活用した滞在型旅行商品の販売などが堅調で、観光客延べ数は対前年比+4.6% (+2.5 万人) となった。

⑧対馬ブロック 127.6 万人、対前年比+9.8% (+11.4 万人)

対 馬 市：釜山－比田勝航路の増便などもあって、韓国人観光客が引き続き大幅に伸びたことから、日帰り客、宿泊客とも過去最高を更新し、観光客延べ数は対前年比+9.8% (+11.4 万人) となった。

地域ブロック別観光客数

(単位：人、泊)

	H29					H28	観光客延べ数		
	日帰り客数	宿泊客 延べ滞在数	延べ 宿泊者数	宿泊客実数	平均 宿泊数	観光客 延べ数	観光客 延べ数	対前年 増減	対前年比
県 計	21,863,208	11,704,906	6,600,627	5,104,279	1.29	33,568,114	32,226,796	1,341,318	4.2%
① 長崎・西彼	4,663,155	2,646,461	1,505,157	1,141,304	1.32	7,309,616	6,945,723	363,893	5.2%
② 佐世保・西海 東 彼 ・ 北 松	6,725,398	3,783,981	2,011,775	1,772,206	1.14	10,509,379	10,143,849	365,530	3.6%
③ 平戸・松浦	1,921,283	766,567	461,539	305,028	1.51	2,687,850	2,624,872	62,978	2.4%
④ 諫早・大村	3,201,419	886,220	491,832	394,388	1.25	4,087,639	3,830,237	257,402	6.7%
⑤ 島 原 半 島	4,698,480	1,709,273	911,238	798,035	1.14	6,407,753	6,273,525	134,228	2.1%
⑥ 五 島	226,795	494,291	304,215	190,076	1.60	721,086	702,293	18,793	2.7%
⑦ 壱 岐	69,895	498,895	335,425	163,470	2.05	568,790	543,910	24,880	4.6%
⑧ 対 馬	356,783	919,218	579,446	339,772	1.71	1,276,001	1,162,387	113,614	9.8%

(5) 外国人観光客（宿泊客）の動向

国においては、ビザ要件の緩和などのこれまでの様々な取組により、訪日外国人旅行者数が5年連続で過去最高を更新する中、本県においては、造船関連ビジネス需要の反動が見受けられたものの、熊本地震の影響から持ち直しつつあり、特に対馬への入込が過去最高を引き続き更新し、長崎－ソウル線が昨年10月から運航再開した韓国からの宿泊客が大幅増となったことなどから、延べ宿泊者数は、対前年比+5.6%（+4.0万人）、宿泊客延べ滞在数は対前年比+9.0%（+11.0万人）とどちらも過去最高を記録した。

なお、クルーズ客船については、入港隻数、乗員乗客数とも過去最高を4年連続で更新し、入港隻数は前年比33.7%増の365隻（+92隻）となり、乗員乗客数は前年比43.2%増の119.9万人（+36.2万人）となった。

国・地域別外国人宿泊客数

(単位：人)

	H28		H29		延べ宿泊者数		宿泊客延べ滞在数	
	延べ 宿泊者数	宿泊客 延べ滞在数	延べ 宿泊者数	宿泊客 延べ滞在数	対前年 増減	対前年 対前年比	対前年 増減	対前年 対前年比
アジア	545,647	969,745	609,083	1,103,226	63,436	11.6%	133,481	13.8%
中国	64,960	108,782	66,604	113,129	1,644	2.5%	4,347	4.0%
台湾	123,458	220,410	127,346	230,294	3,888	3.1%	9,884	4.5%
香港	31,256	55,315	31,468	56,604	212	0.7%	1,289	2.3%
韓国	285,972	518,103	346,130	639,175	60,158	21.0%	121,072	23.4%
シンガポール	8,572	14,191	7,532	12,931	▲1,040	▲12.1%	▲1,260	▲8.9%
タイ	12,507	21,778	11,548	20,192	▲959	▲7.7%	▲1,586	▲7.3%
その他	18,922	31,166	18,455	30,901	▲467	▲2.5%	▲265	▲0.9%
ヨーロッパ	69,870	107,815	35,881	58,860	▲33,989	▲48.6%	▲48,955	▲45.4%
イギリス	5,934	9,537	4,604	7,612	▲1,330	▲22.4%	▲1,925	▲20.2%
フランス	5,043	8,155	3,262	5,413	▲1,781	▲35.3%	▲2,742	▲33.6%
その他	58,893	90,123	28,015	45,835	▲30,878	▲52.4%	▲44,288	▲49.1%
北アメリカ	61,053	88,653	59,996	88,158	▲1,057	▲1.7%	▲495	▲0.6%
アメリカ	57,411	82,725	57,092	83,336	▲319	▲0.6%	611	0.7%
カナダ	3,014	4,916	2,547	4,223	▲467	▲15.5%	▲693	▲14.1%
その他	628	1,012	357	599	▲271	▲43.2%	▲413	▲40.8%
南アメリカ	1,270	2,071	2,910	4,826	1,640	129.1%	2,755	133.0%
オセアニア	7,649	12,328	5,819	9,667	▲1,830	▲23.9%	▲2,661	▲21.6%
オーストラリア	6,272	10,105	4,589	7,624	▲1,683	▲26.8%	▲2,481	▲24.6%
その他	1,377	2,223	1,230	2,043	▲147	▲10.7%	▲180	▲8.1%
その他の国・地域	2,202	3,683	2,227	3,767	25	1.1%	84	2.3%
国籍不明	24,194	37,504	35,692	63,460	11,498	47.5%	25,956	69.2%
合計	711,885	1,221,799	751,608	1,331,964	39,723	5.6%	110,165	9.0%

《参考》クルーズ客船入港実績推移

(単位：隻、人)

	H25	H26	H27	H28	H29
入港隻数	48	92	180	273	365
外航	39	82	164	254	346
内航	9	10	16	19	19
乗客乗員数	84,045	220,837	500,866	837,096	1,198,901
外航	78,187	214,852	490,375	822,873	1,188,284
内航	5,858	5,985	10,491	14,223	10,617

(6) 修学旅行宿泊者数の動向

平成29年の修学旅行宿泊者数は、昨年の熊本地震による方面変更などによる大幅減から回復しつつあり、また、誘致活動や体験民泊の充実によって五島市や壱岐市などが堅調に推移したことから、対前年比+10.5%（+4.2万人）となった。

修学旅行宿泊者数

(単位：人)

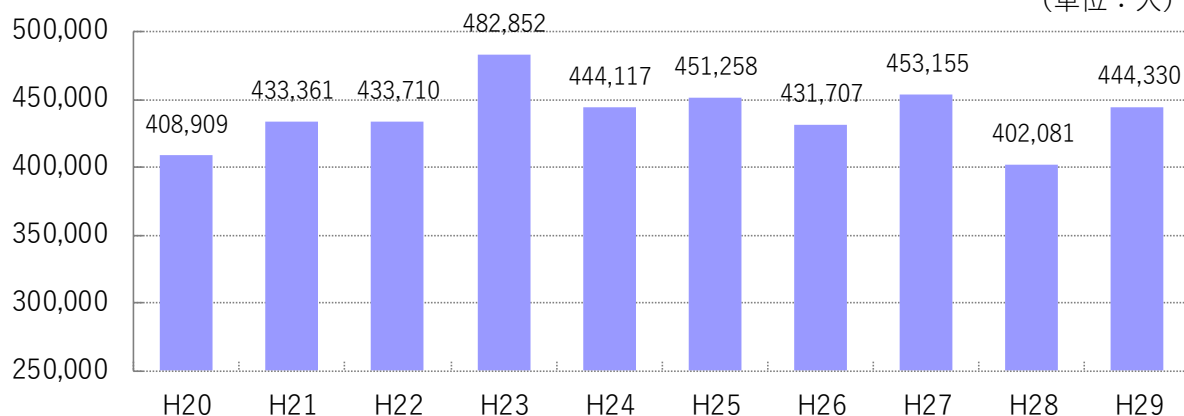
	H27	H28	H29	対前年増減	対前年比	構成比
県計	453,155	402,081	444,330	42,249	10.5%	100.0%
長崎市	297,300	274,600	294,800	20,200	7.4%	66.3%
佐世保市	62,703	66,217	65,630	▲587	▲0.9%	14.8%
西海市	238	40	142	102	255.0%	0.0%
川棚町	2,730	2,733	3,185	452	16.5%	0.7%
平戸市	12,875	9,288	13,046	3,758	40.5%	2.9%
松浦市	16,773	10,671	15,619	4,948	46.4%	3.5%
諫早市	3,037	1,227	1,816	589	48.0%	0.4%
大村市	1,598	949	884	▲65	▲6.8%	0.2%
島原市	7,045	4,953	6,770	1,817	36.7%	1.5%
雲仙市	27,280	14,701	17,193	2,492	17.0%	3.9%
南島原市	10,679	6,060	9,387	3,327	54.9%	2.1%
五島市	1,936	4,253	6,322	2,069	48.6%	1.4%
小値賀町	2,326	1,303	649	▲654	▲50.2%	0.1%
壱岐市	6,455	4,939	8,712	3,773	76.4%	2.0%
対馬市	180	147	175	28	19.0%	0.0%

(注1) 市町調査（聞き取り）による延べ宿泊者数（実績がある市町のみ掲載）。

(注2) 長崎市については、市発表の団体客数（学生客）の数値であるため、日帰り客を含む。

修学旅行宿泊者数の推移（H20～H29）

(単位：人)



2. 長崎県の観光消費額の動向

平成 29 年の観光消費額

観光消費額 3,932 億円（対前年比 + 7.3%）

※平成 29 年 1 月から 12 月まで

○一人一日当たりの平均消費額

【日帰り客】 8,777円（対前年比 + 7.7%）

【宿泊客】 24,417円（対前年比▲0.6%）

平成 29 年の観光消費額は、過去最高であった平成 27 年の 3,839 億円を上回り、3,932 億円（対前年比 + 7.3%）となった。

日帰り客、宿泊客別に見ると、日帰り客は、1,919 億円（対前年 + 12.9%）となり、宿泊客は 2,013 億円（対前年比 + 2.4%）となった。

また、平均単価を見ると、日帰り客は 8,777 円（対前年比 + 7.7%）、宿泊客は 24,417 円（対前年比▲0.6%）であった。

観光消費額

（単位：百万円）

	H28	H29	対前年増減	対前年比
観光消費額	366,548	393,182	26,635	7.3%
日帰り客	169,965	191,884	21,919	12.9%
宿泊客	196,583	201,299	4,716	2.4%
平均単価 <一人一日あたりの平均消費額> （単位：円）				
日帰り客	8,150	8,777	627	7.7%
宿泊客	24,559	24,417	▲ 142	▲ 0.6%

観光消費額の伸び率推移

（単位：%）

	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
対前年比	▲ 1.5	▲ 6.9	2.6	▲ 1.3	6.6	13.1	4.4	12.3	▲ 3.9	7.3

(参考) 平成29年市町別観光客数

(単位：人、%)

市町	区分	観光客延べ数									観光客実数					
		日帰り客数	宿泊客延べ滞在数	延べ宿泊者数	宿泊客実数	平均宿泊数	観光客延べ数	28年延べ数※	前年比	増減	地元客	県内客	県外客	観光客実数	28年実数※	前年比
県	計	21,863,208	11,704,906	6,600,627	5,104,279	1.29	33,568,114	32,226,796	4.2	1,341,318	4,188,909	6,478,454	16,300,124	26,967,487	25,802,161	4.5
①	長崎・西彼	4,663,155	2,646,461	1,505,157	1,141,304	1.32	7,309,616	6,945,723	5.2	363,893	419,924	434,033	4,950,502	5,804,459	5,465,679	6.2
②	佐世保・西海・東彼・北松	6,725,398	3,783,981	2,011,775	1,772,206	1.14	10,509,379	10,143,849	3.6	365,530	1,395,094	1,458,368	5,644,142	8,497,604	8,175,592	3.9
③	平戸・松浦	1,921,283	766,567	461,539	305,028	1.51	2,687,850	2,624,872	2.4	62,978	165,381	796,982	1,263,948	2,226,311	2,208,429	0.8
④	諫早・大村	3,201,419	886,220	491,832	394,388	1.25	4,087,639	3,830,237	6.7	257,402	1,471,771	1,649,932	474,104	3,595,807	3,359,072	7.0
⑤	島原半島	4,698,480	1,709,273	911,238	798,035	1.14	6,407,753	6,273,525	2.1	134,228	593,008	1,949,409	2,954,098	5,496,515	5,346,749	2.8
⑥	五島	226,795	494,291	304,215	190,076	1.60	721,086	702,293	2.7	18,793	73,279	126,044	217,548	416,871	415,622	0.3
⑦	壱岐	69,895	498,895	335,425	163,470	2.05	568,790	543,910	4.6	24,880	26,199	12,570	194,596	233,365	232,651	0.3
⑧	対馬	356,783	919,218	579,446	339,772	1.71	1,276,001	1,162,387	9.8	113,614	44,253	51,116	601,186	696,555	598,367	16.4
①	長崎市	4,520,800	2,556,900	1,450,017	1,106,883	1.31	7,077,700	6,723,500	5.3	354,200	343,373	382,677	4,901,633	5,627,683	5,296,848	6.2
	長与町	75,465	0	0	0	-	75,465	67,774	11.3	7,691	29,280	20,376	25,809	75,465	67,774	11.3
	時津町	66,890	89,561	55,140	34,421	1.60	156,451	154,449	1.3	2,002	47,271	30,980	23,060	101,311	101,057	0.3
②	佐世保市	4,215,201	3,559,520	1,888,420	1,671,100	1.13	7,774,721	7,551,551	3.0	223,170	1,034,366	543,855	4,308,080	5,886,301	5,705,588	3.2
	西海市	999,219	81,306	49,098	32,208	1.52	1,080,525	1,095,287	▲1.3	▲14,762	91,573	344,370	595,484	1,031,427	1,043,676	▲1.2
	東彼杵町	77,415	2,812	1,406	1,406	1.00	80,227	72,987	9.9	7,240	6,306	57,539	14,976	78,821	71,337	10.5
	川棚町	278,904	51,379	28,369	23,010	1.23	330,283	309,255	6.8	21,028	32,909	174,204	94,801	301,914	279,763	7.9
	波佐見町	1,024,412	87,634	43,817	43,817	1.00	1,112,046	973,291	14.3	138,755	164,484	279,490	624,255	1,068,229	933,750	14.4
佐々町	130,247	1,330	665	665	1.00	131,577	141,478	▲7.0	▲9,901	65,456	58,910	6,546	130,912	141,478	▲7.5	
③	平戸市	1,407,731	578,734	347,241	231,493	1.50	1,986,465	1,919,111	3.5	67,354	65,601	674,188	899,435	1,639,224	1,601,354	2.4
	松浦市	513,552	187,833	114,298	73,535	1.55	701,385	705,761	▲0.6	▲4,376	99,780	122,794	364,513	587,087	607,075	▲3.3
④	諫早市	1,950,451	667,539	376,416	291,123	1.29	2,617,990	2,518,543	3.9	99,447	726,943	1,270,747	243,884	2,241,574	2,159,954	3.8
	大村市	1,250,968	218,681	115,416	103,265	1.12	1,469,649	1,311,694	12.0	157,955	744,828	379,185	230,220	1,354,233	1,199,118	12.9
⑤	島原市	1,228,836	357,608	216,377	141,231	1.53	1,586,444	1,380,780	14.9	205,664	54,260	215,720	1,100,087	1,370,067	1,178,473	16.3
	雲仙市	2,293,317	979,146	504,914	474,232	1.06	3,272,463	3,359,146	▲2.6	▲86,683	220,480	1,205,730	1,341,339	2,767,549	2,816,867	▲1.8
	南島原市	1,176,327	372,519	189,947	182,572	1.04	1,548,846	1,533,599	1.0	15,247	318,268	527,959	512,672	1,358,899	1,351,409	0.6
⑥	五島市	141,194	266,479	153,694	112,785	1.36	407,673	392,502	3.9	15,171	40,608	74,065	139,306	253,979	246,772	2.9
	新上五島町	79,462	186,985	126,795	60,190	2.11	266,447	261,522	1.9	4,925	30,922	43,383	65,347	139,652	145,833	▲4.2
	小値賀町	6,139	40,827	23,726	17,101	1.39	46,966	48,269	▲2.7	▲1,303	1,749	8,596	12,895	23,240	23,017	1.0
⑦	壱岐市	69,895	498,895	335,425	163,470	2.05	568,790	543,910	4.6	24,880	26,199	12,570	194,596	233,365	232,651	0.3
⑧	対馬市	356,783	919,218	579,446	339,772	1.71	1,276,001	1,162,387	9.8	113,614	44,253	51,116	601,186	696,555	598,367	16.4

※「28年延べ数」及び「28年実数」は、長与町、東彼杵町、川棚町及び島原市の再算定後の数値である。